中川巖藏書
表題唐土訓蒙
第一九九號
5冊之内2
7年2月9日

唐土訓蒙圖彙

自三至五

目次

巻之三　宮室之部
宮殿樓臺城郭屋舍類
巻之四　人物之部
古昔君臣佛仙戎狄類
巻之五　人物之部
明清人物諸蛮神怪類

唐土訓蒙圖彙巻之三

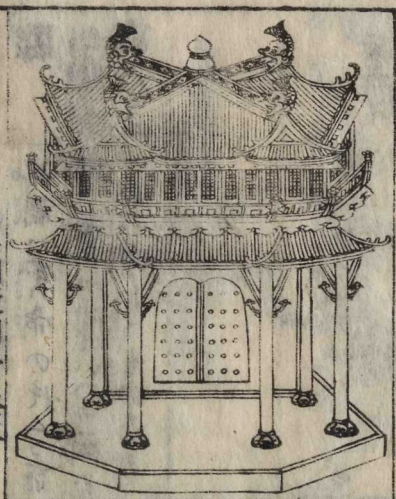
名の下に和名を附

宮室

易に曰昔上古穴居而野處後世聖人易之以宮室此邪上天子の宮より下民間の村居まで

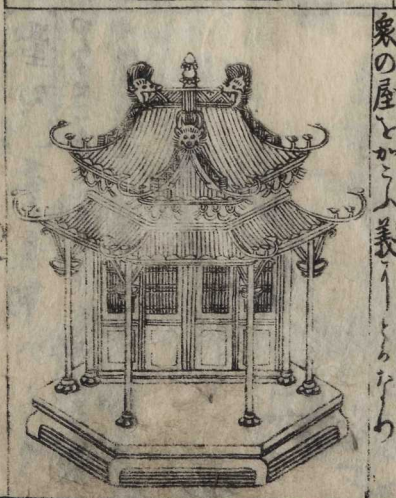
宮 みや

合宮は秦の始皇帝のこしらへて遊ぶ邑の中に處するかとろくいなり

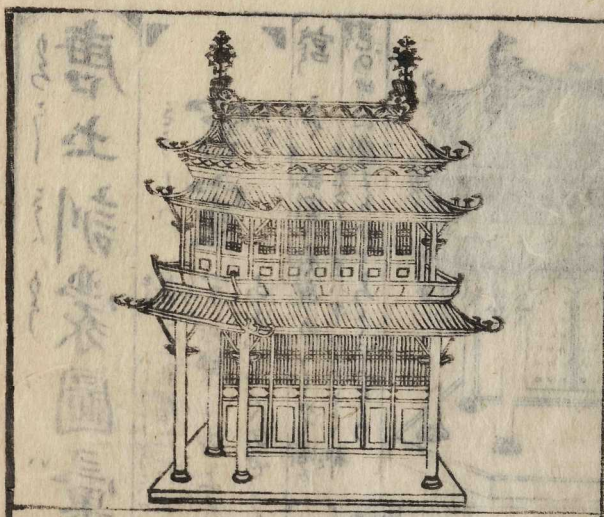


殿 とのづくり

前殿は秦の始皇帝のこしらへたる所の殿とは軍の殿のこと衆の屋とかゝ義なり

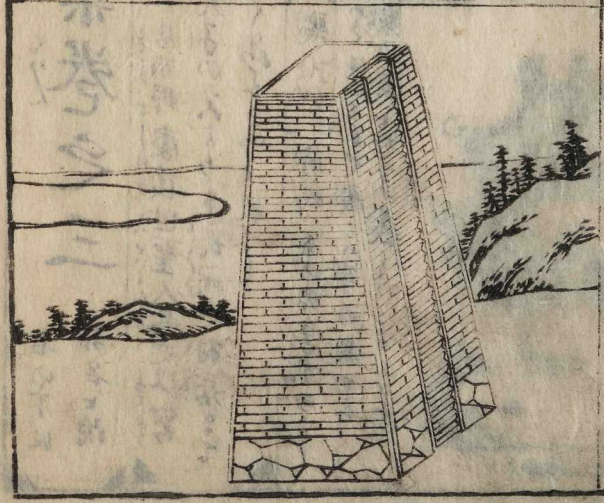


富田氏藏



閣

阿閣ハ黄帝の作る所
白鳳佛閣ハ巢父といへり閣ハ
樓の上に今一重あるものなり

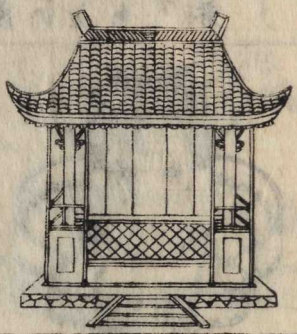


臺なり

臺ハ黄帝の作る所
つくるところ高くして四方を觀
るべきとなり

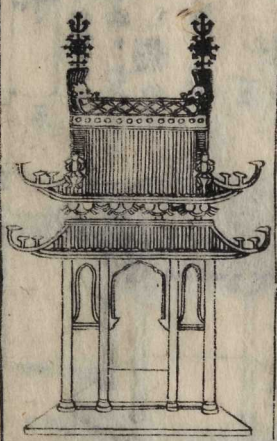
堂

明堂ハ黄帝のたくみ所なり明の字乃ふハ礼義れ管ちうとみうと明るにすふ意なり



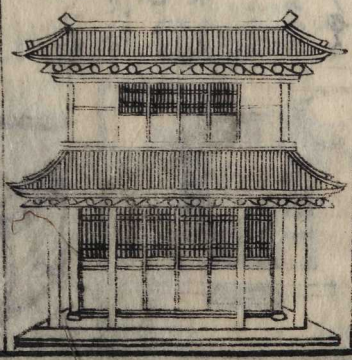
觀

黄帝元始觀をつくりたふ觀ハのぞみたうの意なり又楽楼ともいふ



幹楼

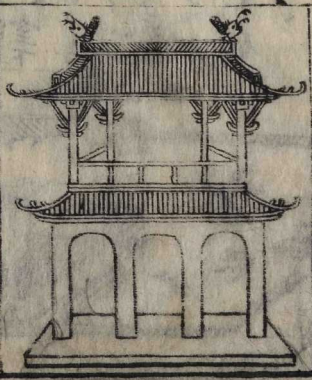
方士漢の武帝に謂て曰黄帝五城十二楼と為く神人と倣と武帝これと信して幹楼とつくりたまへる



黄帝の時ちうまる

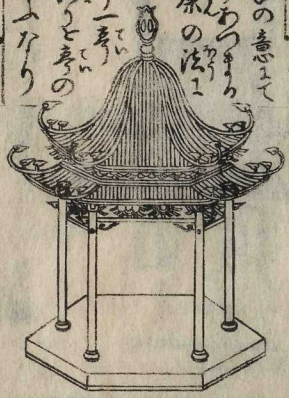
闕

門闕とて宮殿の左右と立て中に門をわきうをいふ中乃うけうの意なり



亭

亭は宇の意にて
宇ゆりあつまりて
ゐる象の法にて
十里に一亭
おくべし一亭
あり所と亭の
長といふなり

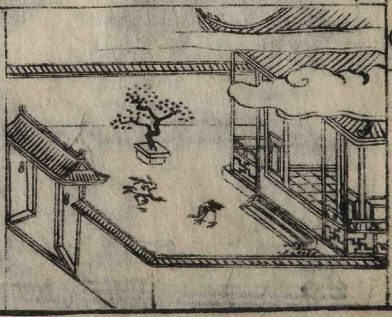


館

客舎なり他國
より來る所の
賓使たちを
りてなれさせ
すつらるべき
和うりの人使者
舎なり

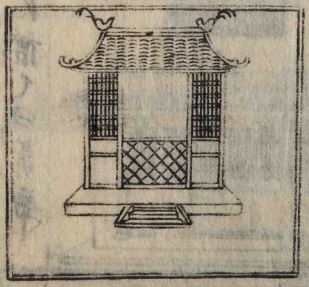
庭館

堂下
より門にいたる
間を庭といふ
黄帝大庭の
館におはしまし
庭の名黄帝
よりおこる



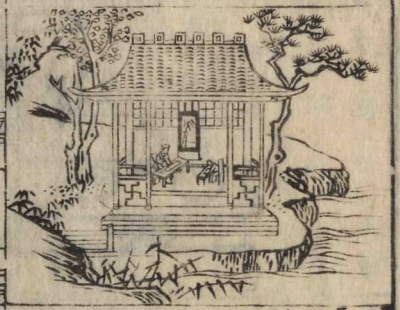
宅

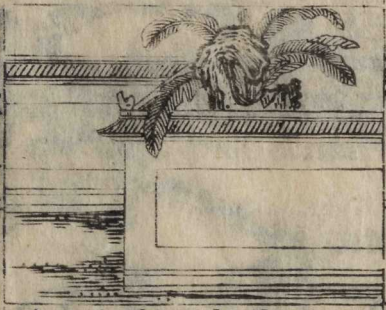
これ
孟子がいふ
五畝の宅にう
めるに桑を
もつてすべし
こし宅のうち
に桑とうゑる
なり



齋

漢の宣帝齋居して事と変ずるの夫より此名あり殷仲堪池のほとりの小屋とぞ齋所とぞ



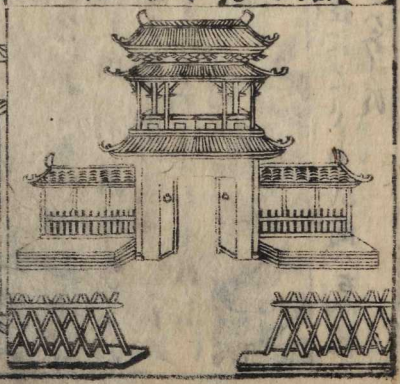


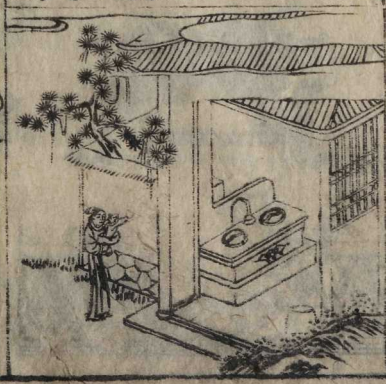
壇

虞の時うちたりて人として富穴と去りむ一文殷と壇こいつ殷と壇こいつ五安壇といふ所と遷弟さるといふ史記

廟

百官の居所と府と人をそれいら廟や官廟は文府といに同し





廚

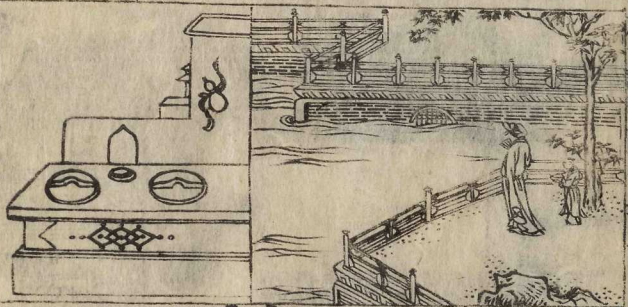
むし伏羲始て豚祭の礼と制して犧牲とれて供とし時ふるしまるかり

閘　愛

上こうのうじょう人の水と魚とをさへぎらんためにうらんをこれを約束とゆ風素の中に素掘のうちこの時ハ圍護心し

竈　黄

帝のつくれる所し漢の李ハ竈の器ハ燥入造火といへ又竈ハ今のうぬなし



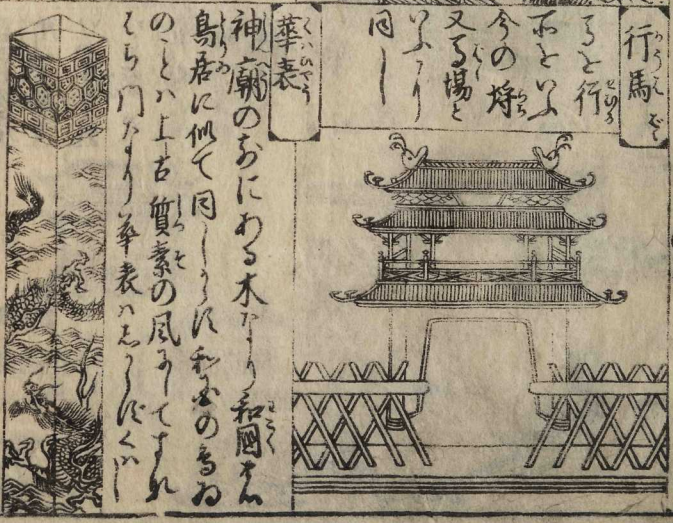
行馬

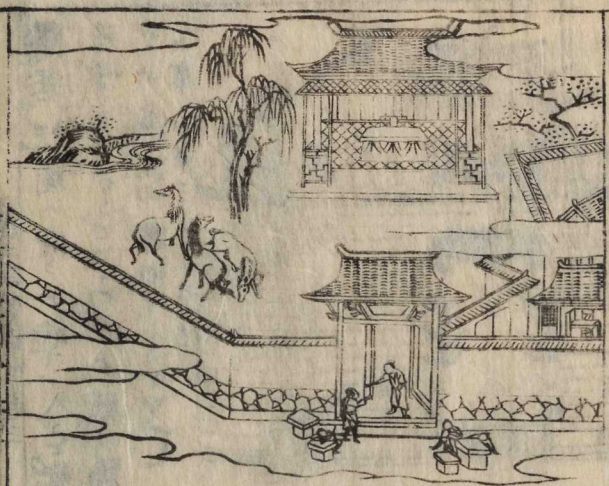
ぎょうと行不とゆ今の將又る場と又ハ同し

華表

神廟のおにわる木ひつり和國ハ島居に似て同しゆへ和國のものハ上古質素の風うてすれ共門かゆり華表ハ高くハ

くハ古今注にんてうわ門ハ古今注のぎりじきハ

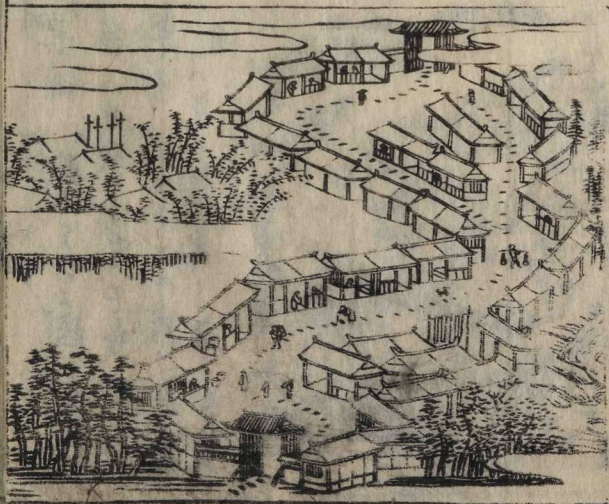




【駅】

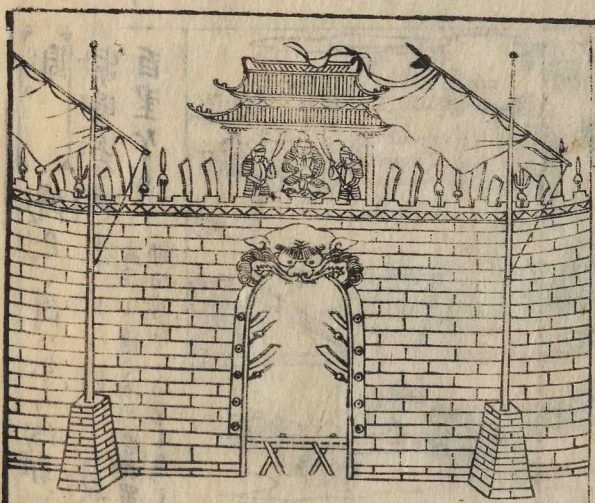
傳舍し傳ハ今の駅馬し
歩馬急遞とそ用ひしと数
百里なり

孟子に德の流行速郵置
郵而傳命とのたまへり



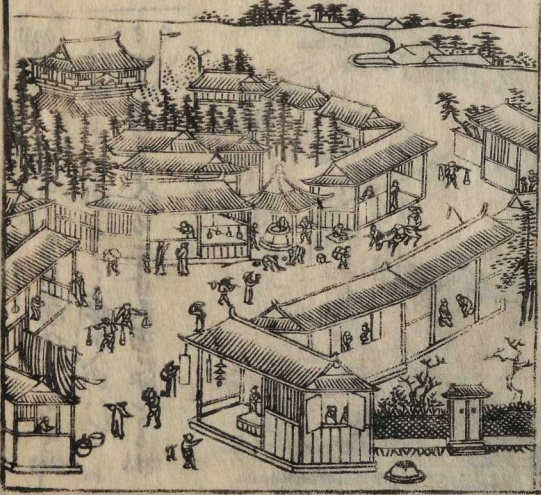
【郷】

周礼に百家のうちを郷
とし郷とは向ふく衆人のむらふ
といふ意し又万二千五百家を郷
とのたまへり



關塞　関へはいると塞へ入と禦非常とかりこしらへなり塞ハ隔なり辺境の邊のつゝしとよむし

○塞ノ和訓コレヲトヨムナリ



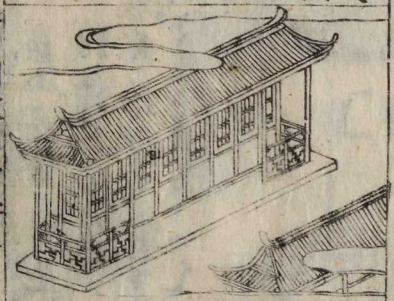
里鋪　鋪のうちは邑とゆらひ第二の里或ハ十七せうを或鋪又ハ地と分ハくひさくゝ列ひ叢聚うちハ里の繁ゝと〻故に里貨浦とゆかなり

坊

坊ハ方ニ
と注して
文園乃
名漢の
ゆよりて
らしまる

房

坊と
同しく方の義
又房の義
かて風雨様
堰と防ぎ入し
宮室の制
中央と心室
と左右を
房とす

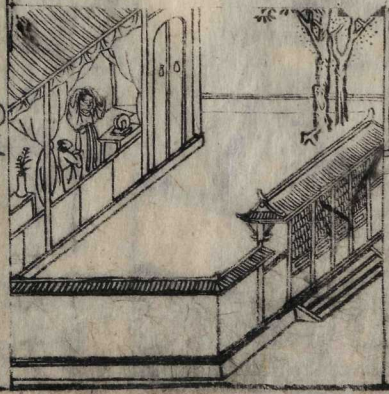


室

宮中乃
織物の
際練を
つかさどる
所とす

帷薄

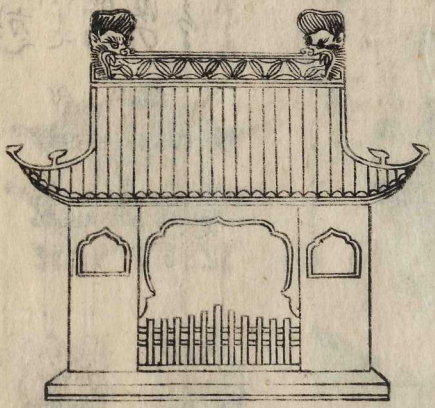
帷ハ幔也
薄ハ簾也
婦人の居
所とする
大戴禮
ニ帷薄
不修と
ゆへ



廟 たまや

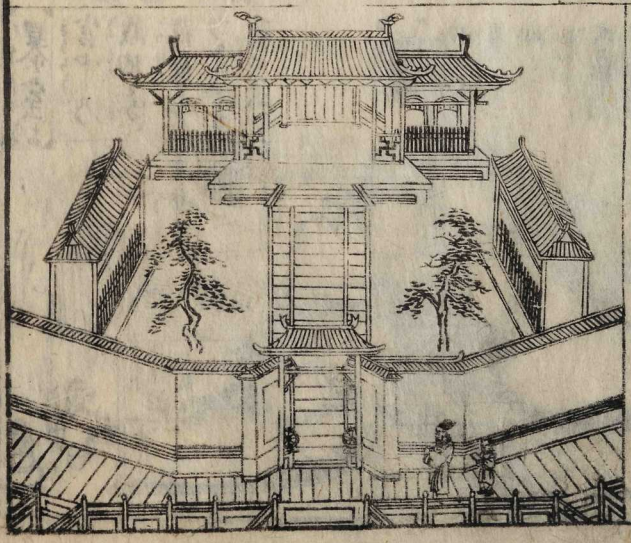
廟の字義は先人の靈貌を彷彿とする故なり

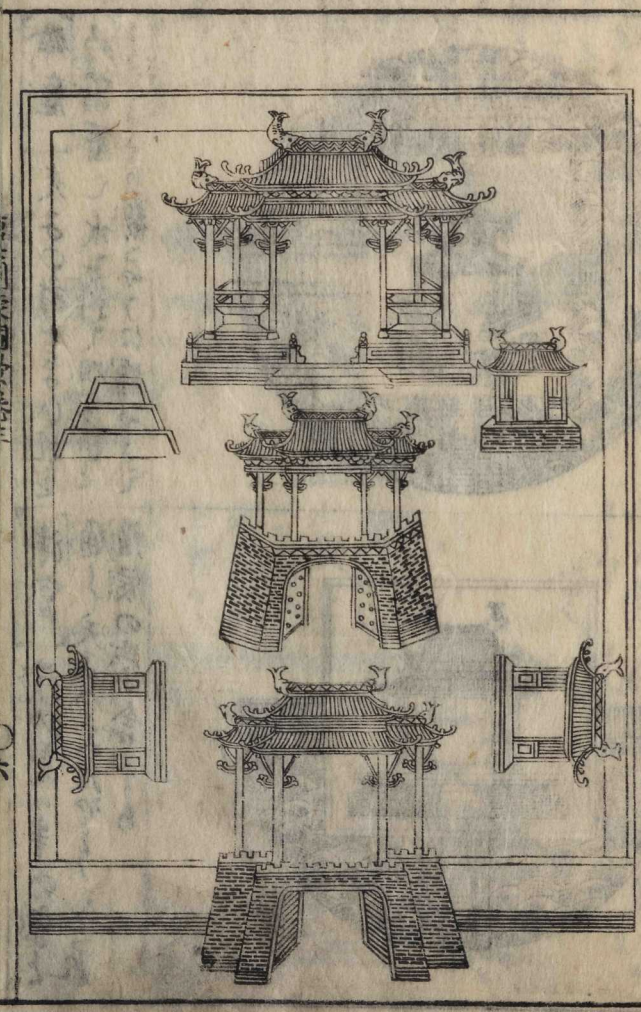
ひろ〳〵 茅茨 帝天 ひのかりの 殿下 遊幕 ゆ〳〵 祠 とる其ちごめし



學 ガク

郡學校なり上天子より下庶人まいるまで皆の學文所なり



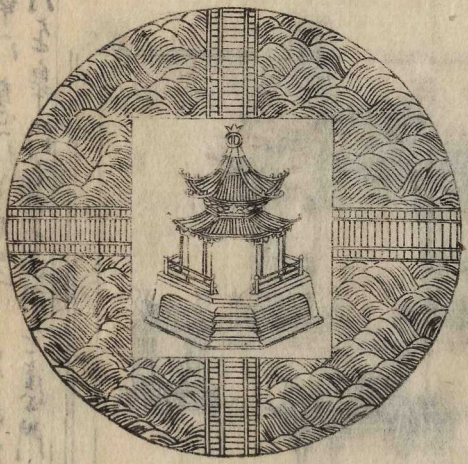


皐門 應門

むかし大王岐こうつりのひ室と築さ廟を作くり皐門 應門と建のり古公亶父のち大王を追称し王の郭門を皐門とのゝ正門を應門とゝ仰天子の門なり

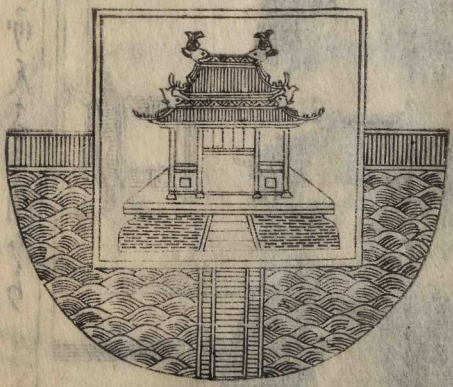
辟雍

天子の射と学ひ礼を
ならふの所し水をうけて四方ひと
しくこゝろ親るやうに墻をさし



泮宮

泮の義ハ半の字と
通し天子の文れ行ふこれ
諸侯の学ん舎なり

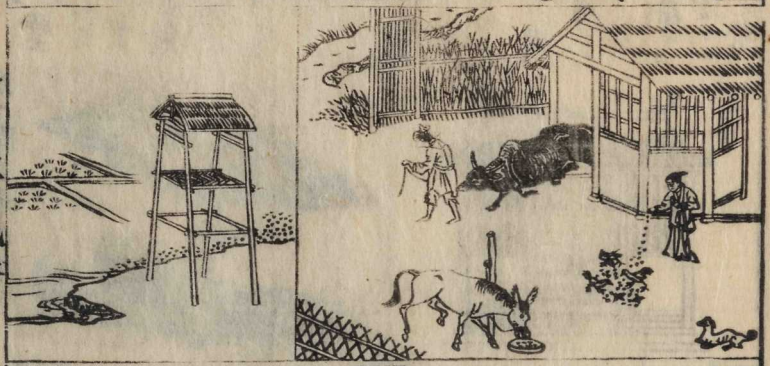


田廬

民の家ねゝ生る物大るを畜わと將ゝり五畝の宅二畝半と廬ゝ二畝半と田ゝ古制なり

守舍

田圃とゝろ小屋ゝこゝを守人けゞ田とゝゝ

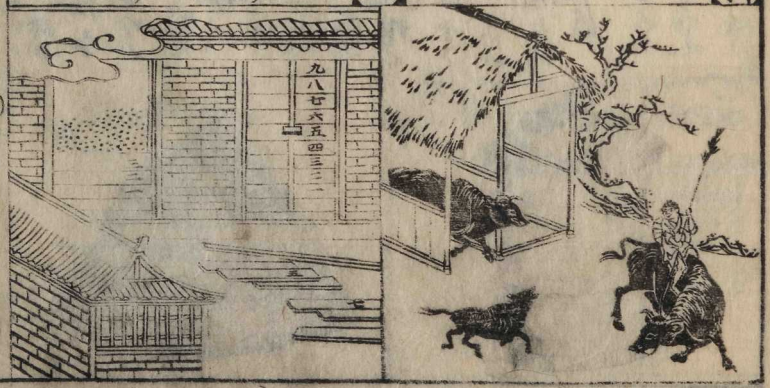


牛室

牛とゝゝゝゝ糞とゝゝ

倉

五穀を貯ゝゝゝ處の總名を倉ゝゝ

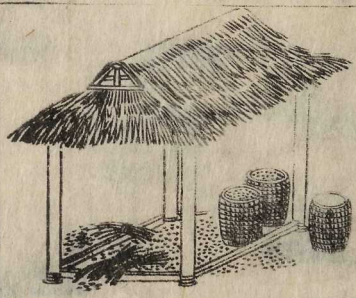


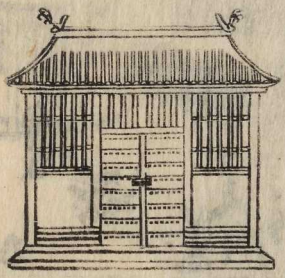
廩 くら 壁土

なくやねとりあつことのよりあり
廩倉ハ五穀
と義さ所の
ものなりもい へ

庫 くら 兵器

金鼓あつことを
書といふ
文庫と庫ハ
湯武のら
五庫と楽て
五兵と義ふ

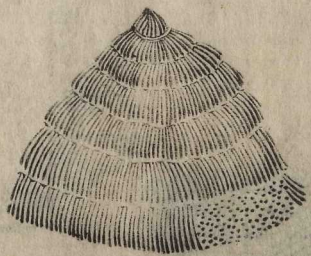


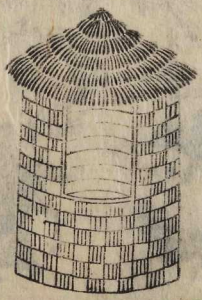


庾 くら 壁土

なくなねふ
さくらとふ
いねりれな
ぼのなり

囷 くら 丸く
建て苫さ
ふくらとふ
廩の圓なり
と殿とし





京 くら 所

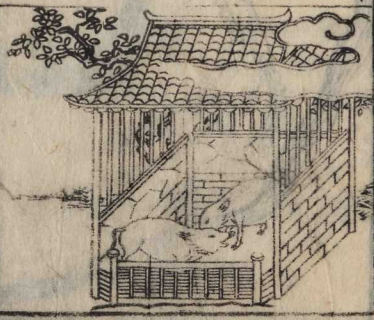
ちるとゝ又
廩の字よつる
京ハ高大乃
義とゆつく
いへり

寶 たから

小さくて腹大
きゝて和へ乃
と窮てゆ入
ものといつて
窮よ仙ら

圄 とり 牛

家の数とかゝ
とあるといつり



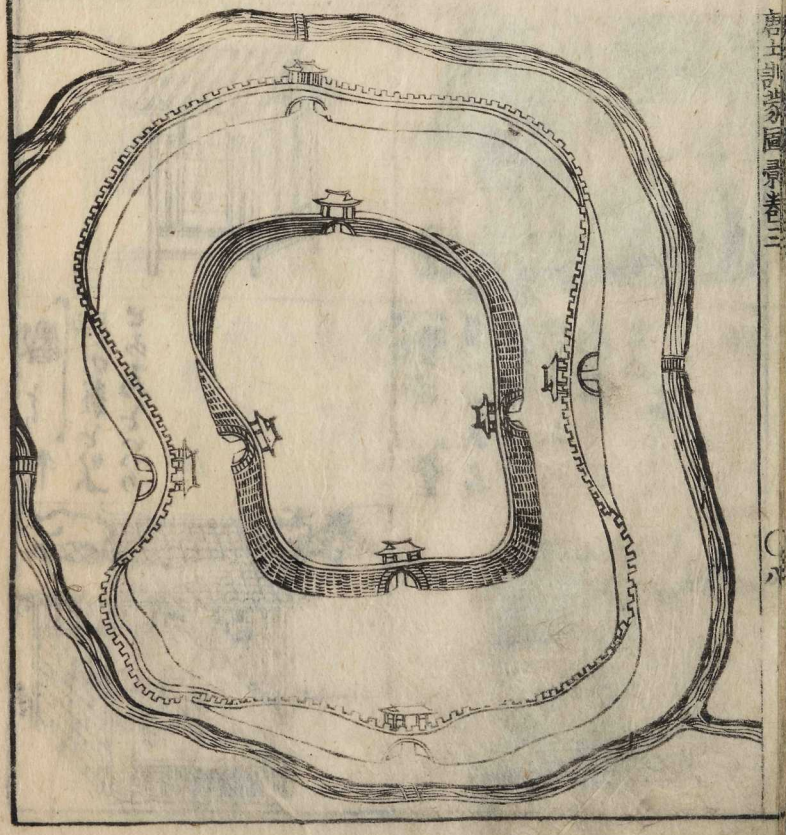
登司

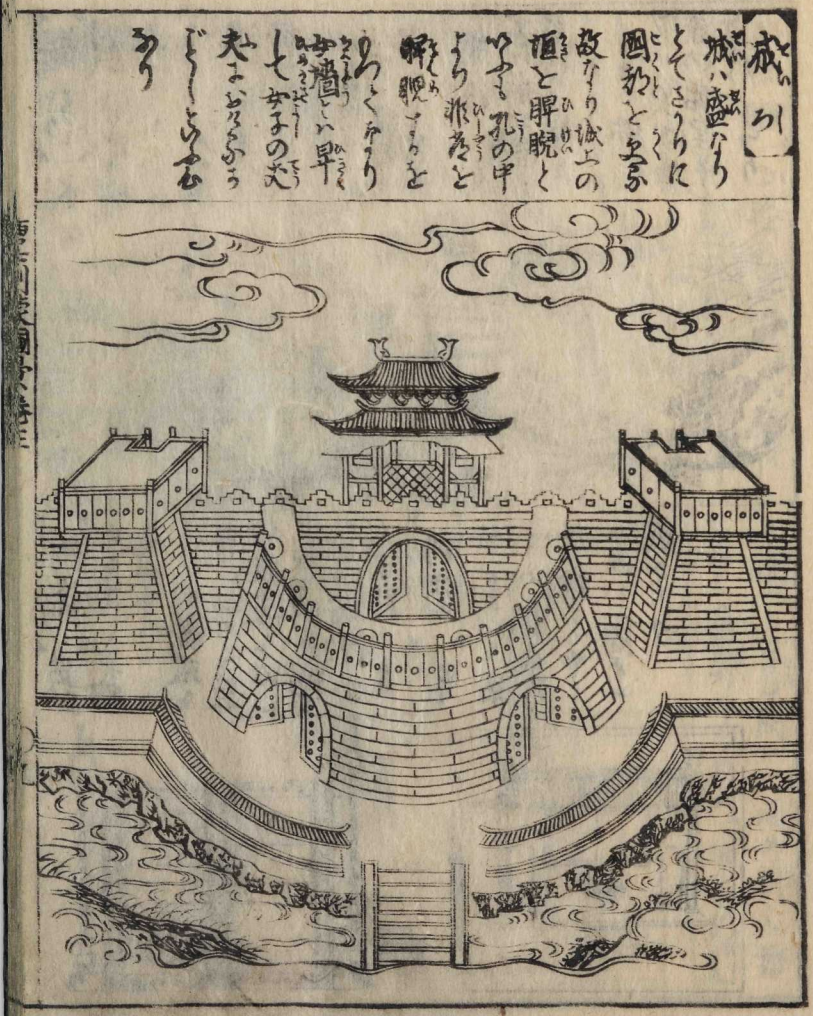
司ハ林の名
郭登とひと
つにつり今乃
人ゆやまりて
との名ゝ

郭 くわく

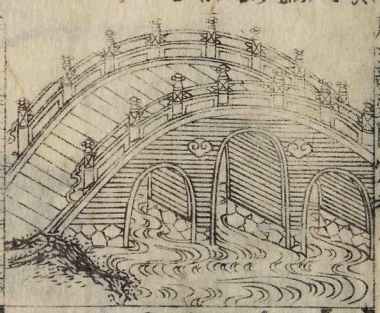
城のまわりを郭といふむかしは縣と城とつくりこれをもつて君を衛つる民をまもれ縣と城とにたくさんめとすなわち城コハ君わり郭コハ民わりいまいつくしくるしめのごとし

○傾城 けいせい 坡度の君主をたくさんとも四方をこゝろわるくしてそなへをいわるを郭とゝ

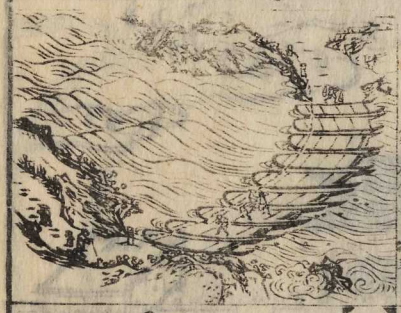



城ハ盛なり
そこさうりに
四郭とも
故なり城上の
垣と睥睨く
ゆゑ孔の中
より非為と
睥睨するを
わくなり
如壇しい早
して如まの犬
夫よりふう
じゝとも
ろり

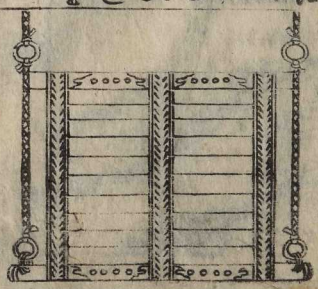
橋 水



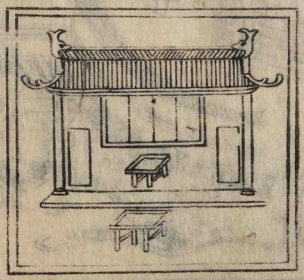
維舟 天

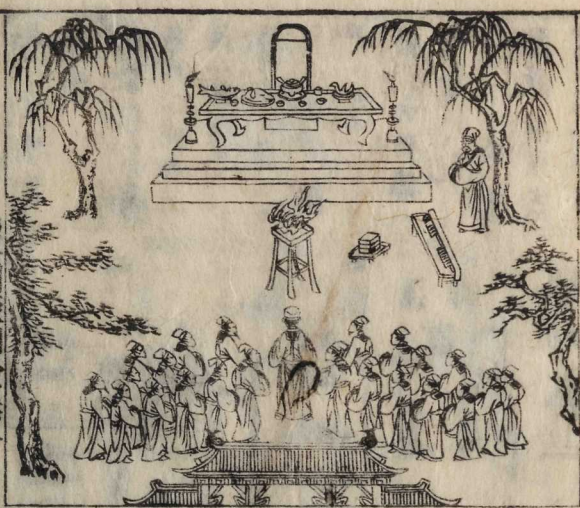


釣橋 軍に用る臭し其制橋の上に二の鐵環を施し貫くに二の鐵索を以て鐵を以て城樓の上に設く



祠堂 先祖をまつる所なり釈氏又佛壇の如し これハ一間なり





民社儀

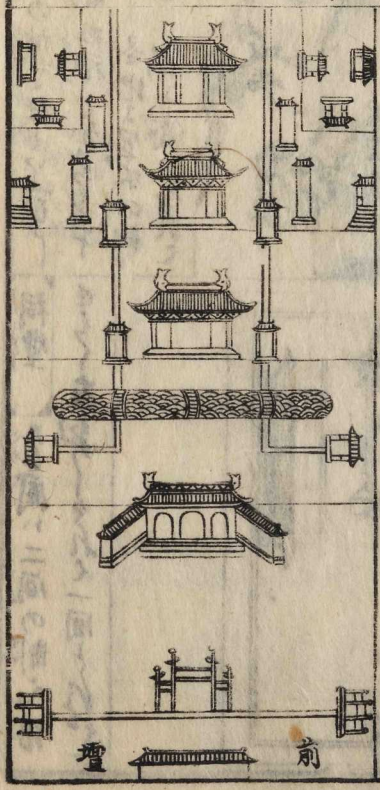
土地の神と社とをいふなり
共工の子句龍社神となる二十五家を一社とし各地を定めの樹をうゑ國ハ社を祭る儀とす

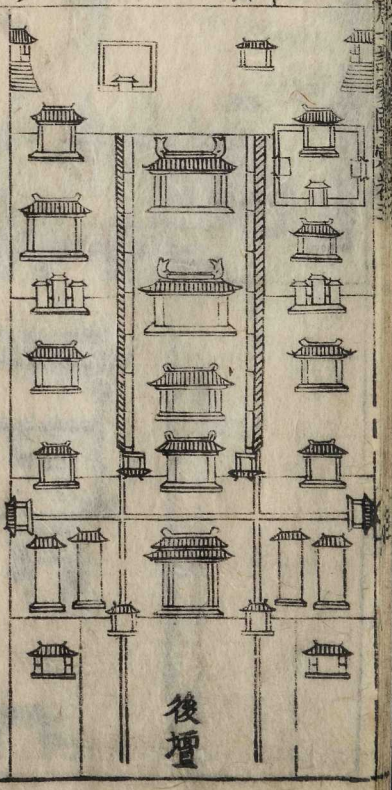
祠堂

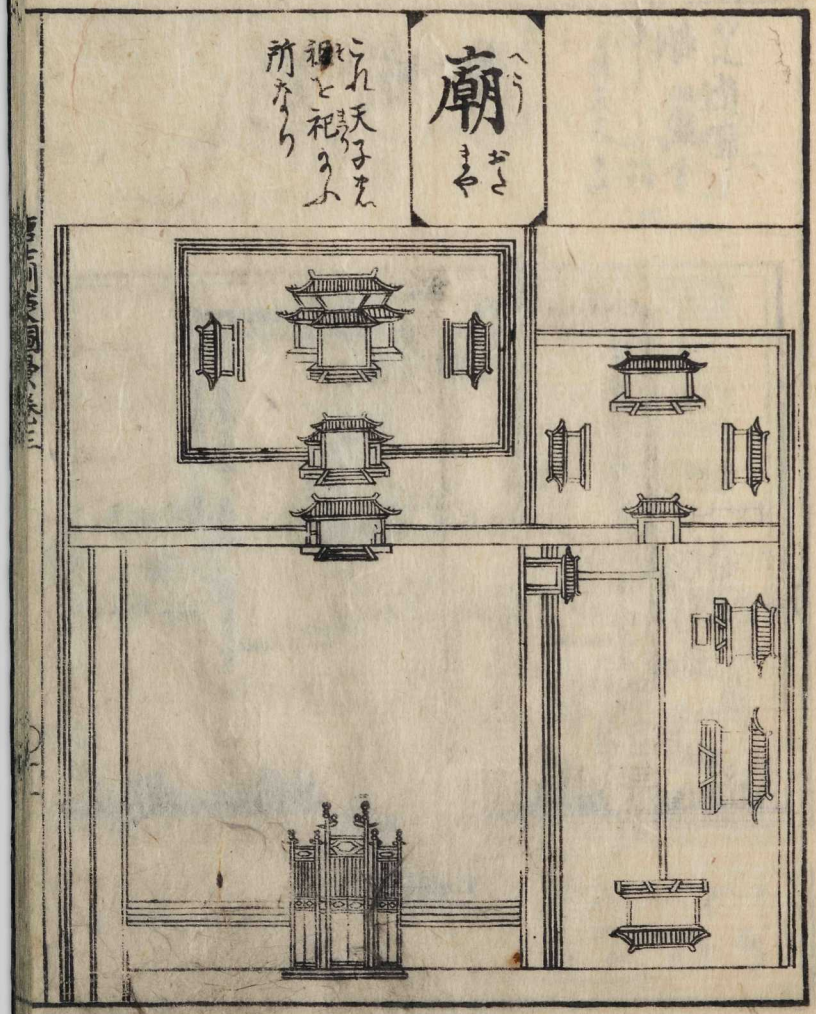
庶國ハ二間の制なり
せまく家多くなれば一間となる

夫子宮壇前後圖

先聖孔子の廟
充州仙源卿の
西二里西のうら
魯城に接する
と二百歩闕
里の舊宅なり
殿門の階擣ハ
ものく記し
こゝ委ハ聖
跡圖闕里志
なにかゝしか
てよハ
〃 ふのミと
わくふに

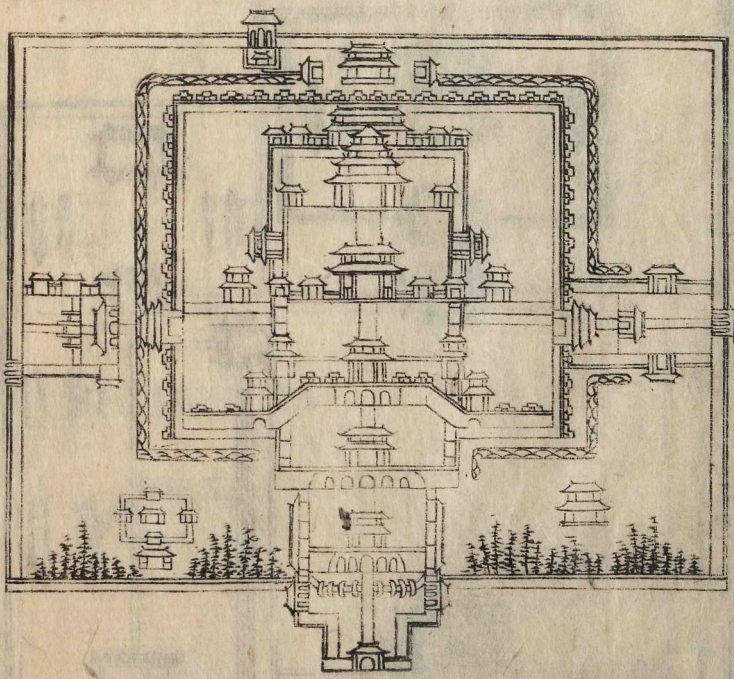





廟（へう）（おさまや）
これ天子たち祖と祀るの所なり

皇城圖

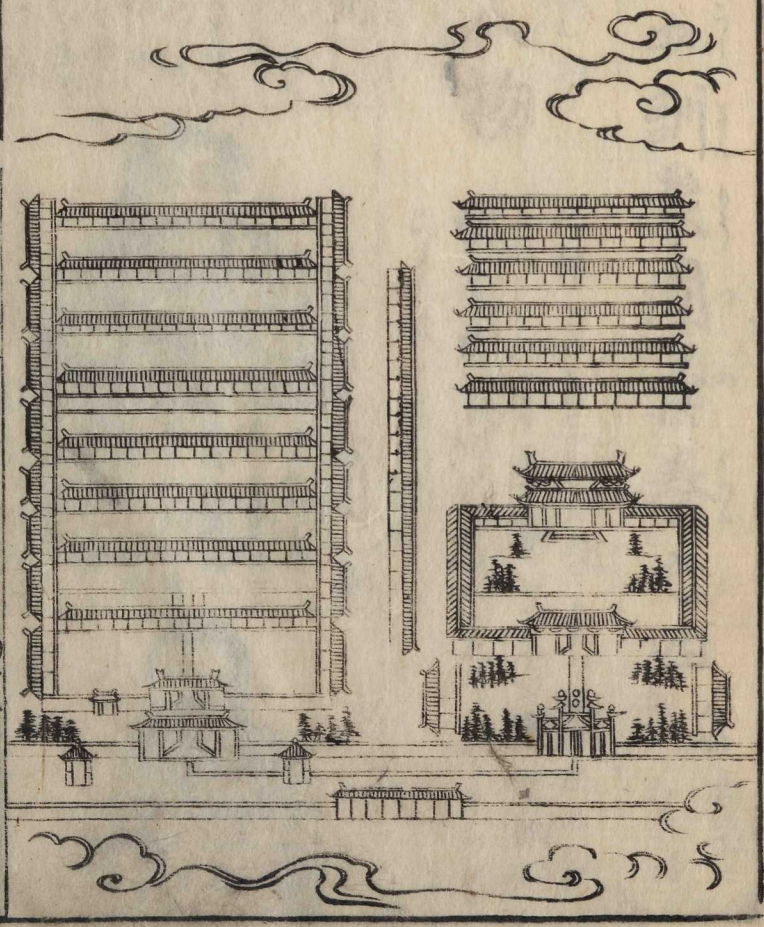
これ天子の宮城の都の圖今いと珍しき事なり



大學校

大學校

學文所



唐土訓蒙圖彙巻之四

人物　名の下に和名を附

人物

此部には上三皇五帝より君臣の名を始め諸家の圖像とよび佛祖神仙蠻夷戎狄の形容をもとりてしらしめ

渾沌氏

大荒の代生れてその始をもつことなし天地のあと明にして陰陽の道に通じ神みて霊わまこれと萬物のうしなん

天皇氏

嵩無外の広い出つる徳あるを以時五運始ておこり大化始て立て人の風俗真に淳しといつる

地皇氏 雄

耶龍門の岳に出つ火德有道と潛て中央を兼ねを

人皇氏 形

馬山提地國に出つ土德あり山川を相て裁て九州とせり

伏羲氏 木

德を以て天を繼て王たり八卦とせり書契を造る在位一百十一年

神農氏 火

德を以て王たり天下を耕す○日中を市とし百草をなめて醫藥とす

軒轅氏　黄帝

帝德と脩り兵と治め蚩尤と戮し天下命に敢て涿鹿に都し在位一百年壽三百歳なり

陶唐氏　帝堯

堯は平陽に都しその人其仁は天のごとく其知は神の如し百姓安樂して在位九十八年壽百十八歳なり

有虞氏　帝舜

舜は蒲坂に都しその父瞽瞍に母嚚弟傲て常に殺んとすれども孝なり堯帝の禪をうけて在位五十年壽百十歳なり

夏禹王　舜

命して水と治め九州を平ぐ舜位を禪て在位九年壽百歳なり

商陽王 姓ハ子名ハ履夏の桀を伐て天下をたもつ亳に都ス在位十二年壽百歲なり

周武王 姓ハ姬名ハ発父西伯文聖德を以て天下を三分にしてその二をたもつ武王紂を伐て天下をたもつ在位七年

楚項王 項籍字ハ羽臨淮の人長八尺二寸力能鼎を扛秦をかろんし漢の高祖と戰て利わるくして自刎て死ス

漢高祖 姓ハ劉名ハ邦下沛の人秦を亡ぼし楚と約して帝位を郡ス火德を以て長安に都ス在位十三年壽五十二

漢の武帝　名ハ徹　在位五十四年　壽七十一
古よりの年號ナリ　此時佛ヲ
おこなわる武帝
てんそう神仙
とらのわる費
わり

漢の光武　東漢
姓ハ劉　名ハ秀
武勇ヨリ兵ヲ
わぎて王莽と
誅シ　漢室ヲ
中興せり　在位
三十三年　壽
六十二なり

漢の昭烈　蜀
姓ハ劉　名ハ備
義兵ヲ起シ
曹操ニ戰ヒ
漢中王ニ稱ス
後帝位ヲ
在位三年壽
六十二なり

魏の太祖　曹
操　小字ハ阿瞞
沛國譙の人
漢の獻帝の時
義兵ヲ興し
賊ヲ撃ち功ヲ
以て王となり
終ニ漢室ヲ
うばへり

呉大帝 姓ハ孫名ハ權魏文帝呉王に封じ位を嗣て金陵に都し在位三十一年壽七十一なり

晉武帝 姓ハ司馬名ハ炎司馬懿の孫位を纂て自立し洛陽に都し呉と平て混一したり在位二十五年壽五十五なり

梁武帝 姓ハ蕭名ハ衍小字ハ陳兒甚仏法を信じ侯景乱を起し臺城を圍て餓て崩ず壽八十六なり

唐太宗 名ハ世民高祖才二のまし太子建成を殺し弟元吉を殺して太子となり治世時天下よく治る貞觀の政と称するハ此時なり

唐則天皇后

武氏ハ太宗の才人ニして高宗
立て皇后ニなり
高宗崩ゝ
朝に臨み中宗
を廢して潛立
ス在位二十一
年壽八十二

唐玄宗

聲
宗才二のゑし
安祿山ゝ叛
により蜀に幸
して位を太子
に譲ル太上皇
と稱ス在位
四十四年壽
七十八なり

宋太祖

姓ハ
趙名ハ匡胤
在位十六年
壽五十なり
太祖始後周
に事て義功と
なり後自ら
立て黎帝の
禪をうけ

元世祖

姓ハ
孛兒只斤氏
鉄木真蒙古
部ニ入なり世
蒙古部の長
として威德さ
かんニして宋と
ハ
して王なり

明太祖　姓ハ朱氏諱ハ元璋　至正十五年義兵をおこし洪武元年即位　在位三十一年　壽七十一なり

黄帝　帝の始め人を始て鳥の跡をもつて字をつくりもつて天下これがくわにをなすとふらし　黎民ようやく興り世人遂に字ハ頡なり謝すと称ス

伯夷　名ハ元字ハ公信といつり才の叛臣とあるとも俱に逃て西伯に敵ス武王の紂を伐ントスルを諫むるを首陽山に隠て飢死ス

周公　武王乃弟名ハ旦といへる成王の幼と相て政を摂行へる武王周公共に聖人なり

太公望

姓ハ姜氏名ハ子牙又呂尚といふ西伯渭陽より逢て車にのせて帰り立て師となりて六韜無法をつくる

先聖孔子

名ハ丘字ハ仲尼山東曲阜縣乃人周の靈王二十一年三月四日午時に生る周乃敬王四十一年四月四日午時に薨る年七十三魯の泗水の上に葬る

顔子

名ハ回字ハ子淵魯人心と潛めて道と體し賢して亞聖と稱し

曾子

名ハ參字ハ子輿聖門一貫乃傳と得其学問の本源孝とし故に孝経を曾子の問也

子思　名ハ伋孔子の孫伯魚の子衛に仕へ後退て中庸を作り聖學を演て次て孟子に傳と啓くり

孟子　名ハ軻字ハ子輿魯の孟孫の後鄒人なり業を子思の門に受く學既に通して齊梁の間に游ぶ其學高世に明らなり

莊子　名ハ周字ハ子休宋の蒙雎陽蒙縣の人長桑公を師とし南華仙人と号す著述内外篇五十巻九十萬餘言也

屈原　名ハ平楚の同姓し三閭大夫となり讒に遭て憂愁して離騒を作り汨羅江に沉る

張良　字ハ子房韓の公子なり圯上老人の書を授く高祖に用られ功成て後赤松子に従ひ仙を求めると保てり

韓信　淮陰の人なり漢王壇を築て拜して大將として三秦をさゝひ大功をわすれ後誅られて新死に

司馬遷　字ハ子長と号す漢の太初中に太史令となり刑をうけて憤を発し史記を修し万代史官の法となる

嚴子陵　名ハ光曾稽昏厭姚の人なり少て光武と同学れ光武帝佐て用んとすれ共出ずして富春山に耕して居る

諸葛孔明　諸葛亮字ハ孔明南陽に寓居より劉備往てこれを見め終に劉氏を助て名臣乃名とあり

關羽　字ハ雲長河東解人なり蜀乃先主に事て恩兄弟のごし孫權糞てこれとあり

王逸少　王羲之字ハ逸少將軍會稽乃内史となり上巳の日山陰の蘭亭に會して風流の名あり文古今能書の才なり

陶淵明　晉の臣なり宋に在て名と譽て潛字ハ元亮と名ク世に精節先生と号ク酒を隱る人なり

杜子美　杜甫

字ハ子美京兆杜陵の人なり天寶の末賊を奏し帝うれを奇として拾遺の官をかたりぼ減南ながら近人の才一なり

李太白　太子賓

の母長庚の懐よ入こめ生て李白と名りわ因れと名く世に謫仙人と称し杜子と一雙なり

韓退之　名

愈字ハ退之南陽の人なり學者うれとわくと泰山北斗の如し佛骨の表を上て潮州ゑ謫せらる

柳子厚　名

宗元河東の人世ゑ柳柳州と称し韓柳と并称せらる文章卓偉の進士なり

賈浪仙　賈嶋なハ浪仙と
いつり初ハ法師
寺の僧なり
世を捨て僧ハ
敲月下門の
句とはなら人
なり

白樂天　名ハ
居易天原乃
人敏悟人ニ絶
なり十七ハ
進士ニ登
その時乃詩
慈恩塔上
題名處十九
人中最小年

司馬温公　字ハ
君實夏縣の人
君子蕭然と
し圖書ニ
盈つその著ハ
所資治通鑑
なり宋朝ニ
の人物なり

張横渠　名ハ
載字ハ子厚
長安の人西の
諸とはこれ学
問力行関中
士人の宗師し

邵康節 名ハ雍字ハ堯夫河南の人天文易學の數理に達し世の易と云ふ者皆堯夫を祖とす人の著に皇極經世書等あり

程伊川 名ハ頤字ハ正叔聖學の正脉を傳孟子の氣象有り所謂天民乃先學聖代の真儒と云へり

程明道 名ハ顥字ハ伯淳伊川の兄にして兄弟共に賢名あり氣象温和にして顏子に似たりと云へり

周濂溪 名ハ惇頤字ハ茂叔道孔營道の人人品高く胸中洒落光風霽月の如し黄山谷云へり

歐陽永叔　名ハ脩字ハ永叔廬陵の人少して孤なり家貧しく灰を以て地に畫て書とす宋朝第一の文章かな

陸子静　陸九淵字ハ子静金谿の人学者象山先生と称し語録世に行はるその学心と本とし禪に似たり程朱の学と同じうせず

朱晦菴　名ハ熹字ハ元晦と称して文と論らる孔孟以来の理学を啓き周程の書を註し文筆多いなるまで大成の真儒なり

黄山谷　名ハ庭堅字ハ魯直洪州の人官大史に至る初李公擇と石牛洞山谷寺に相まて常に山谷道人と号し改る山谷道人と号し

蘇東坡　蘇子瞻名ハ軾東坡居士と号ス眉山の人翰林学士と為り文筆古今に絶れて畫も亦名家なり

許魯齋　許謙字ハ益之金華の人学ハ程朱の統とせさその外天文地理典章字学醫経術数乃至諸子すべて

薛文清　名ハ瑄字ハ德温山西河津の人年十二にして詩賦を善し進士に登り御史に擢らる諡生薛夫子と唱へつ

王文成　王守仁字ハ伯安餘姚の人数賊とやぶり功わり学ハ陸象山の乃とつぎて心学の宗り世に楊明先生と称れ

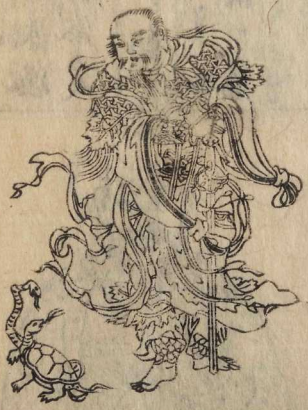
佛神仙類

釋迦牟尼佛

白衣観音

南海観音

真武帝君



魁星の圖

丁酉の神將 戚文公

丁未の神將 名叔通

丁卯の神將 名司馬

丁巳神將名崔巨卿

丁丑神將名趙子玉

丁亥神將名張文通

甲子神將名王文卿

甲戌神將名展子江
甲午神將名衛玉卿
甲申神將名虞文長
甲辰神將名孟非卿

甲寅神將名明文童

太上老君

老子のこと

天駟之神

先蠶元犯西陵氏

蠶の神は天駟の星なりとも云ひ蠶婦れ糸し黄帝の元妃西陵氏といふ婦人なりとも云ふ

彭祖
西王母
呂洞賓
東方朔

張果老
陶弘景
王質
陳圖南

萬国人物

君子国

黒契丹

扶桑國

巴赤舌

包石
吾京愛達
阿思
無連蒙古

紅麻 コウマ

女暮樂

土麻

阿里車盧並

乾魚日國

擺里

深列大

大四羅國

鐵東

米牙金彪

歌祭

後眼國

波利

乞黒奚

骨利國

木思奚德

皆五散僧
方連魯
黑蒙國
訖魯

三伏駄国
木直戈
遼
西洋國

近佛国
烏代部国
文身国
道明国

義渠國

蘇部識匿國

乾陀国

龜茲國

正鞠国

烏孫国

擔波国

新千里国

撒馬兒罕

サマルキヤ

一目國

長脚長臂國

長脚国人ト
長臂国ト相
近レ其人常ニ
長臂ヲ負テ
海中ニ入テ
魚ヲトル

唐土訓蒙圖彙巻之五

人物　名の下に之下　和名を附

人物

[illegible]

大明

中華前代ノ人物訓蒙不圖彙ニ出タルハコレヲ載セテ　新考

大明ノ太祖大元ヲ亡シテ国ヲ建ル

後李自成乱ヲ、コレヲ滅ニ亡フ

大清

新考

韃靼ヨリ大明ヲ亡シテ国号ヲ大清トス　日本正保ノ比ナリ

賀蘭

中華ノ西北ナリ此国水乏シク井ヲ深クホリテモナレ故ニ沈魚ヲウヘメテ雨水ヲタメテシカフ猶捆ニモ先壇槐ノ教ヲ問定テ相應ニ三百モ持行也

匈奴

代ゝ漢ニ敵スル国ニ朝国

蒙古韃靼ト同シ類ナリ

兀良哈

フランカイ遼野ノ属国ナリ

麻阿塔

此地ノ神ヲ舎屋ト云城池アリ

日蒙國

国ニ房舎アリ種田姜ヲ出ス

犬戎國

兵戈ナシ攻戰セス文身國ト同クシテ言語コトナリ

一目國

此國北海ノ外ニアリ

蘇登國

林邑国東ヨリ稻毎月一タビ熟ス文字ヲ貝葉ニ書ス

的剌普剌国

国ニ瘞池アリ田ヲ立明珠異寶ヲ出ス

哈密国

西番八州ノ東ナリ回回韃靼ト同シ

吐蕃

假西蕃ト号ス本西蕃

住肇國

西番南部度也象ノ背ニ屋ヲ立テ角士ヲ載ス

馬羅國
此國異賓生頭香ヲ出ス
野人国
此国大山林アリ野人多シ
男子モ婦ノ長ケ瓠ノ如シ
木葉ヲ食フ
卯都丹
国人身黒色地熟シテ
雲ナシ
一聲國
西海ノ中ニアリ其人一
目一孔一手一身半体
ナリ肩ヲ比ベテ恵為
相合如シ

退波係黒和尚

此国城池房舎アリ羊馬ヲ出ス

七番鉾山

此地駝牛ヲ出ス種田アリ

黒暗国

此地犀牛ヲ出ス

悄國

此国西番ニアリ乳ヲ食テ活トス應天府ヨリ行テ五月ニ至ル

入不國

此国城池種田アリ胡椒ヲ出ス

氏人國

建木西ニアリ其狀人面ニシテ魚ノ身ナリ足ナシ腿ヨリ上ハ人ニ似下ハ魚ニ似タリ

猴獼國

一名抹判剌國若別国ヨリ兵来レハ衆猴コレヲ防ノ二法アリ敵ヲ来リ侵サストテ

鳩尼羅國

此国乃チ西番佛牙石ノ出ル處ナリ

西南夷

西南夷国人髪ヲ結リ足ヲ跣ニシ斑花布ヲ衣毡ヲ布キ刀ヲ帯ヒ弩ヲ帯ス

蜑三蠻

此人舟ヲ室トスフ二ニ種アリ一ヲ魚蜑トスサ二ニ蜑ニヲ蠻蜑トス海ニ没テ蠻トル二ヲ木蜑トス木ヲ伐リ果ラトル

西番国

一、鬼方トイフ武丁鬼方ヲ伐ツ三年コレニ克トコレナリ城池房舎ナシ多山林内ニ坐シ人ノ肉ヲ食フ其国人佛ニ奉スル者皆刺療ト称ス

盤瓠

盤瓠ハ高辛時ノ犬也ソノ時犬戎ヨリ責ケリ其將首ヲ得ン者ヲ婿トセントアリケルニ犬呉將軍ノ首ヲ獻ヲ来ケレバ帝ヲヲアタヘラル犬ヲヲ負テ南山ニ入リ六人ヲヲウムソノ子孫後黄タルナリ

交趾

一名安南

此国人性
形狡愛ヲ
貪ミ跣足ニ
テ醜シ賊
盜ヲ尚フ後漢ノ
馬援コレヲシタガヘタリ

賓童龍

此地佛
書ニ言
王舍城
ナリ今ハ
占城縣
ナリ
地主
出ル時馬ヤ
象ニ騎ル

老撾国

安南ノ西北ナリ

古ノ
越裳氏也
此国人性
狠戾ニ
シテヨロレカラス

真臘国

此地廣州ヨリ船ヲ発シ
北風十日ニシテ
至ル
也
此地ノ
事真臘
風土記トスルニ詳ナリ

爪哇國
此國東南海嶋中ニアリ飲食木葉ヲ以盛リ手ニツ一三食フ凡草蟲ノ類皆煮テ食ス
佛囉安國
此國ニ飛來ノ銅神二個アリ六寶ト
四寶アリ六月一五日生ヲ
丈日
南海ノ中ニアリ此地ニ犀象珠璣異寶香藥ノ類ヲ產ス泉劫ヨリ一月ニレテ至ルナリ
三佛齊國
回鶻
匈奴ノ種類ナリ本回紇也唐ノ德宗ノ時其地鷹ノ捷ナル鶻ノ知キヲ以テ同ヲ以テ鶻ヲ紇ヲ鶻ヲ同ヲ以ナリ

千闥國
此国人死スレハ火ヲ以テ化シ骨ヲ收テ葬ル其塚ハ沙ヲ以テ作ル塚門ヲ守ル者ヲ沙門僧ト称スコレヨリ中国モ沙門ト称ス
沙弥茶国
此地大陽西ニ没ル純ナレハ晩ニ至テ日ノ没ル色雷霆ノ如シ国王城上二人ヲ裂メ鑼ヲ鳴シ鼓ヲ打テ混雜サナシレハ小兒驚ク
大食勿拔國
此国多ク乳香樹ヲ出ス皮ヲ斫テコレヲトル
大食弥琶羅國
此国主ナレ豪キ者更ルク互ニ事ヲ主ル國人獵ヲ好ミ日々ニ獸ヲ射テ食ス

木蘭皮国
此國産スル所多
一粒ノ長三寸凡ノ圍
四五尺胡羊ノ高
三四尺尾ノ大サ
扇ノ如シ春
ニナレハ腹ヲ
割膏ヲ取テ
数十斤再ヒ腹
ヲ縫ハヨク活ルナリ
女人國
此国
男子
シヤ
入井
ヲ照
ニテ子
ラウム
又裸形
ニ南風
アタレハ
ウムトス
烏衣國
此國
人人
鬱
人
ヲ見
レハ背行
面ヲ見セ
メスコレヲミレハ
即コレヲ殺ス
大闇波國
此国
綿羊
ラウム
鸚鵡
輸珠
ヒシユ
寶貝
ヒウカイ
多ク
出ス

麻離拔國
此地ニ異香
珠珠犀角象
牙珊
瑚等
ヲ產ス
金銀ヲ
錢トシ
交易ス
孝臆國
此国人ノ性質直ニ
客旅ヲ好ム
貌大
ナリ
義真雅一色アリ
狗國
此国ノ人男ハ狗ニテ身ニ
毛ヲヒ衣ヲ
キズ物イ、
犬ノ如シ
女ハ三十人
ニテ能淫
婦ヲナス
東印度國
此國
人性
ヲ強獷
殺伐ス
ヲ好ミ戰
死ヲ以テ吉利
善終ヲ不祥ト
ストスフ

大食国
此国山谷ノ間ニ
樹アリ其ノ花人音和シモノイワズ只笑フ ニレキリニ笑ヘハソノマヽ
ニ落花ス
大食國ノ
默伽国
祖師 蒲羅叶
上ニ人ノ妻
荒野ニ在テ
男子ヲ生ス
流ノ水ナケ
ハ地ニ棄テ
水ノ涯ニテ水ナシ立回テコレラ
ミレハ脚ヲ以テ地ヲスル
ソヽヨリ一ノ泉湧出テ甚
清シ
訶陵国
此国人
木屋重
閣ヲ造
櫻皮ヲ
以テ蓋
酒食キ
ヲ以テ
ソヽニ
食フ
婆陀蠻国
此国人身黑漆ノ如
山審ト号ス
ヨク人ヲ食フ故ニ船人
敢テ岸ニ近ツカス

勿斯里國
此國雨フラス天江アリテ溢時ハ四十日田ヲ浸ス水退テ耕ス老人水ヨリ出テ吉凶ヲ人ニ告ルト云リ
南尼華羅國
此國人佛教ヲタツトミ牛ヲ撃フ牛ノ糞ヲ以テ屋壁ヲヌル
大食勿斯離國
此國ノ山ニ天生ノ果樹アリ蒲盧ト名付ク採リ食ヘシ其外産多シ
焉耆國
毎歳十二月甲ヲキル者ト衆人トタヽカハシレメテ年ノ豊倹ヲ占フ

可只國

コレ西番寶物ヲ出ス処ナリ

婆羅國

此国ノ男女皆刀ヲ佩テ行人トムツヽシカラサレハ刺殺シテ他所ニハシル一月ノ外ニナルトキハカヽヒナシ

不刺國

西番ノ人羊馬ノ出ル処ナリ

三首國

此国夏后啓ノ北ニアリ

三身国
一首三身ナリ
鑿齒国ノ東ニアリ其人
蒲牟国
其国王金冠ヲ戴キ金銀屋ヲ歸ル
斯伽里野國
山上ニ穴アリテ火出ツ国人大石ヲ穴ノ中ニ打レハ爆テ皆碎ク此火モヘ出テ林木ヲヤカヅ石ヲ焚人
蒲家龍
海東南ニアリ国人ミナ頭ヲ剃ル此国胡椒檀香沉香丁香白豆蔻ヲ出ス

羽民國
海東南崖嶽向ニアリ毛羽ヲ生シテ飛シカモ遠ク飛コトアタハス人ニ似テ卵生ス
都播國
此国ハ鉄勒ノ別種草ヲ結テ廬トス耕作ヲシラス百合ヲトリテ食トス貂鹿皮鳥羽ヲ服トス
曾斯國
西南海ノ上ニアリ賢身黒ク渺ル眷商奴トナレテヨク忠ス
聶耳國
無腹国ノ東ニアリ其人ノ身虎文アリ耳長シテ膝ヲスク行トキハ手ニテ耳ヲ捧テ行ナリ

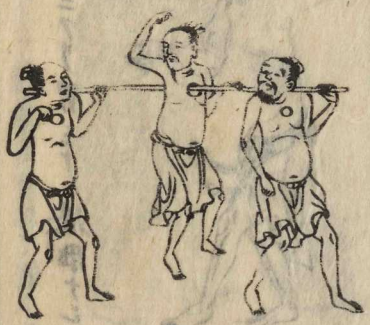
無腹國
海ノ東南ニアリ男ニナ腹胆ナシ
巴遂山
南海内ニアリ黒人虎首ニ人ノ両手ニ
蛇ヲ持テコレヲ啖フ
交脛国
国人脚脛曲来テ相交ル
陽霊山神
此神人戒人ニ似テ
二首アリ名ケテ騎蟲トイフ

回回国

国ニ城池宮室田畠市アリ風土ハ江淮ト異ナラス

穿胸国

盛海東ニアリ胸ニ竅アリ槍ヲ者ハ衣ヲサリ早者ニ竹木ヲ以テ胸ヲ貫サレテコレヲ撞シム



梟魯果訛

此国城池五穀アリ良馬ヲ出ス

結賓郎国

国ニ城池種田アリ黄頭仙人成道セシ処ナリ

沙華公国
国東南海中ニアリ其人常ニ大海ニ出テ人ヲ刼レトラヘテコレヲ隣閣沙国ヘ賣ナリ
阿蘭部
国人猟ヲナシ其肉ヲ重煎テ石ヲ以テラシ汁ヲトリ米及ヒ草ノミヲ肉ノ汁ニ釀シテ酒トナスコレヲ飲ハ醉フ
阿黒騎
此国人海ノ魚ヲ乾テ活トス国ニ馬ナシ
長毛國
此国人身ニ長毛アリ城池種田アリ晉ノ永嘉四年此人ヲ獲タリ

大秦國　西方ノ番商コヽニ華ニ其ハ王布帛ヲ以テ金字ヲ織出レテ氍毹ト云ス此地ニ聘朔ヲ生ス

白蘭　此国珍寶多シ酥酪餅餌ヲ食フ魚菜リシ金銀珠玉ヲ産ス人雪布ヲ以テ頭上ヲ纏フ

繼漢国　永昌郡南千五百里ニアリ国人尾アリ坐スルトキハ先地ヲウカチ尾ヲくさめテ後ニ安坐ス人其尾ヲ折レハ卒然トメ死ス

單馬令　宋ノ慶元二年ニ金三壇金傘一柄ヲ此国ヨリスヽム国ニ地主ア

柔利國

此國一目國ノ東ニアリ

國人膝ヲ曲テ前ニ向フ一手一足アリ

默伽臘國

国ニ主アリ珊瑚樹ヲ出ス鉄ノ網ヲ以テトルト云処ナリ

滅吉里

國人言語韃靼ニ似タリ蹇天膚ヨリ四箇月ニ至ル

吉慈尼國

此国ノ地西北極ニ近シテ寒シ畜牧駿馬多シ

獫狁國

海島上ニアリ

奇肱國

国人ヨク飛車ヲツクリ風ニ従テ遠行ス湯時車ヲ以テ西風ニ乗シ豫州ニ至ル湯其車ヲ破ル

訶條国

金遼山廟ニ石鼎アリ人モシ飲食ノ盡ナントスルトキコレニ向テ礼ヲナストキハ飲食悉ク具ル

故臨国

国人黒色好テ弓ヲ帯中国ノ人松ニテ往ハ大食ノ人必コヽヨリ小舟ニ易テ乗去ル

隴水節
昔日番王ノ子都ヲ建テ
百姓住ス應天府ヨリ馬ニテ
半年ニ行ケリ
三蠻國
此国ノ民
ヒトヲ食フ
死スル者
埋メトモ
心肝裂
スメ後ニ
復化
シテ
人トナル
登流眉国
此国ノ人
手ヲ
交
ヘテ
両膊ヲ抱テ
礼ヲナス
無脊国
此国ノ人
腹腸ナシ
ヒトヲ食フ
穴ニ居ス
死シテ
ウツメハ
心裂スメ
フタヘビ人ト
ナル

不死国

此国人色黒シテ死セス不死樹アリコレヲ食ハ壽シ赤泉アリコレヲ飲ハ不老

懸渡國

此地山溪不通士人石ヲ壘テ室トス水ヲ飲ニ相引テ手ヲ接ヘテ飲也

烏萇国

此国ノ民死罪アレハ殺サスコレヲ空山ニウツス事ノウタカハシキヲアレハ藥ヲ服スレハ清濁自ラ驗アリ其事ノ輕重ニ隨テ決斷スルナリ

波斯国

此国人身ノ色黒金花布ヲ以テ身ニ纏フ王ハ虎皮ヲ以テ身ニ蒙フ出ルトキハ軟轎ニ乘ル

撥枚力国
此国人五穀ヲ識ス
肉食ヲナス常ニ牛
ニ針シテ血ヲトリ
乳ニ和シテ生
ヲノム
身ニ衣
ナシ腰
ヲ羊ノ
皮ニテ掩フ
婆羅遮国
此国人狗ノ
頭様ノ面ヲ
並ヘ服ヲ男
女晝夜歌
舞ヲ
ナス
昆吾国
此国寶鉄ヲ産スコレヲ及トナセハ
玉ヲ切ルヽ
泥ノ如シ
五溪蠻国
此国人
父母ノ
死ニ
遇テ
鼓行
踏歌シ
親属ヲ
ツヽリ飲食ス家
産ヲ盡シテ葬
ヲツクル

眉路骨國

此国七重ノ城アリ
黒光ノ石ヲ用テ
砌トス毛段ヲ
衣トシ肉麪ヲ
食トス金銀ヲ
錢トス

麻嘉國

此國土人
麻
霞
出
世ノ慶
其国神ヲ祭シ
佛トス毎年皆来テ廟
ヲ拜ス

藏國

此国城池屋舍アリ地ニ
大柳樹ノ産ス

登山之神

早耳ノ水ニ俞兒
トヽ云者アリ登山
神ナリ長一尺餘
ニシテ黄冠黄衣
朱服シ馬ヲ走シ
齊ノ桓公ノ特産
テ見ル西覇王ノ
君興レハ俞兒ア
ラハルト云リ

鍾山之神
名ヲ燭陰ト言 龍身人面ナリ
天吳
朝陽谷之神
水伯トス
虎ノ身人ノ面
貧ノ足
尾青黄色ナリ
金神
左耳ニ青蛇アリ両ノ龍ニ乗レリ
虎ノ爪ニメ鉞ヲトル
コレ西方ノ神蓐收ナリ

神陸
一名堅吾其狀虎ノ身人ノ面九ノ首九域ノ事ヲ司トル
崑崙丘之神
鵲山之神
其狀鳥身龍首古ニコレヲ祠ルノ礼璧璧ヲ献セリ
燭陰
北海外鍾山ノ神ナリ
身ノ長百里人面龍ノ身赤色ナリ
蓬萊
此神蓬山ノ陽ニ居リ出入光アリ此神天地ヲ動ス甚奇人霊ヨク霊ヲ通ジ
コニ通ズ
ラフラス

相柳氏

崑崙ノ北柔利ノ東ニアリ共工ノ臣ナリ九首人面蛇身也

天山之神

狀皮囊ノ如シ背上赤黃火ノ如シ六足四翼面目ナシ名ヲ帝江トイフ

大者北之尸神

大人國ノ北ニアリ獸身人面蛇耳ヲ貫リ

強良

大荒山北極ノ外ニアリ白ニ蛇ヲ御ム其狀虎ノ首人ノ身四肢アリ